

1

いよいよ始動！メガソーラー（太陽光発電所）  
「たはらソーラー・ウインド共同事業」

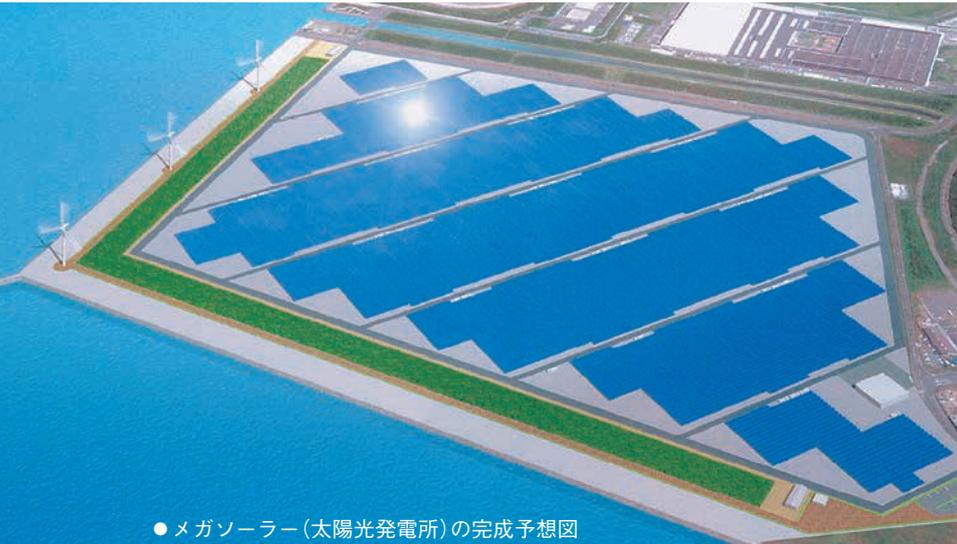
Solar Power Generation

**太** 太陽光発電所・風力発電施設の起工式が、11月7日（水）、三井

化学(株)や関係各社の代表者と田原市長などが参加し、緑が浜の同社用地（82ha）で行われました。

再生可能エネルギーの推進

「たはらソーラー・ウインド共同事業」では、大規模な太陽光・風力発電施設の建設が予定され、発電規模は



●メガソーラー（太陽光発電所）の完成予想図

◆太陽光・風力発電施設の発電規模など

■太陽光・風力発電施設の発電規模  
56MW (56,000kW)

市内19,000世帯分の年間使用量に相当

■二酸化炭素削減量 約32,000t-CO<sup>2</sup>/年  
杉の木約230万本分の二酸化炭素吸収量に相当

※メガソーラーとは、1MW (1000kW) を超える大規模な太陽光発電施設のこと



●起工式での7社代表による「鉄入れの儀」

▼企業立地推進室 ☎23局3549

境学習や観光資源の一役を担う施設として、地域貢献を視野に入れた事業が始まります。  
なお、メガソーラーは、2014年10月に完成する予定です。

太陽光が50MW、風力が6MWで国内最大級となります。これは、田原市が進める環境と共生する豊かで持続的な地域づくりを目指す「たはらエコ・ガーデンシティ構想」に見合うものです。再生可能エネルギーを推進するまちとして、全国から注目されることにより、産業や地域の活性化が期待されています。  
事業地には、メガソーラーの見学施設が設けられる予定で、市民の環境学習や観光資源の一役を担う施設として、地域貢献を視野に入れた事業が始まります。

田原市と三井化学(株)が  
公害防止協定を締結

太陽光・風力発電施設の起工式に先立ち、10月23日（火）、田原市と三井化学(株)との間で、公害防止協定を締結しました。

この協定により、太陽光発電所・風力発電施設周辺の騒音や振動対策を取り決めた公害防止計画がなされ、周辺環境に調和した整備が実施されます。

▼環境衛生課 ☎23局3541



●公害防止協定を結んだ田原市長(写真左)と三井化学(株)の佐野副社長(写真右)